

形質 3：植物体：粗密

植物体の粗密は、枝の数と葉の数の組み合わせである。



1 粗



2 中



3 密

形質 4：植物体：葉と比較した花の位置



1 同じかわずかに上



2 適度に上位



3 かなり上

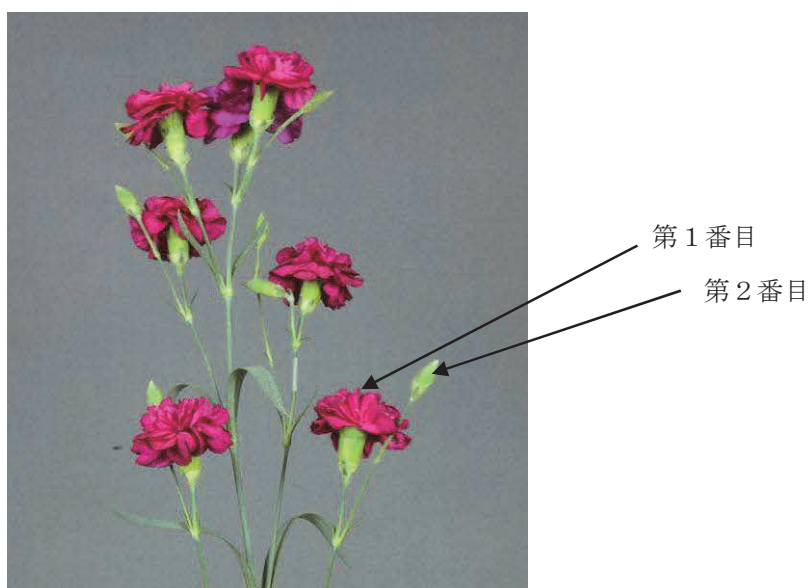
形質 5：植物体：つぼみ又は花のない側枝の有無

形質 8：茎：節間の数

節間の数は、頂花のほう葉からつぼみ又は花を持つ側枝が着生している最も低い節位までの数进行调查する。



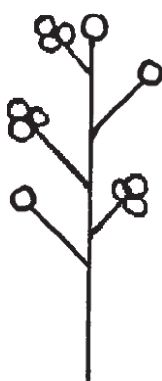
形質 6：植物体：二次的なつぼみ又は花を有する側枝



形質 7：植物体：花房形成した側枝



1 無

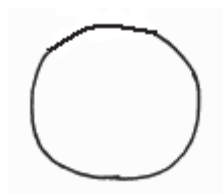


2 一部に有

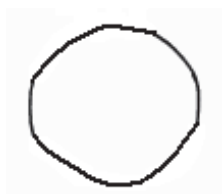


3 すべてに有

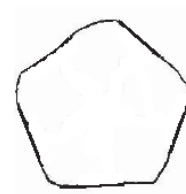
形質11：茎：横断面の形



1 円形



2 やや角ばる



3 角ばる

形質12: 茎: 中空



1 無



9 有

形質13: 葉: 形

		← 最も広い部分 →		
		中央部より下	中央部	中央部より上
広い (小さい) < 幅 (長さ/幅の比率) — > 狭い (大きい)			3 線形	
		1 卵形	2 楕円形	4 倒卵形

形質16: 葉: 巻き



1 無又は
反曲が極弱



2 弱い反曲



3 反曲

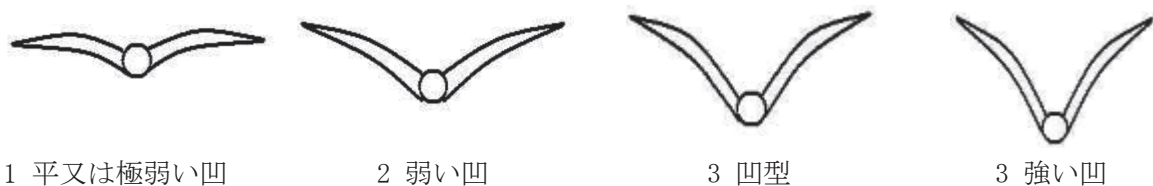


4 強い反曲



5 反曲が極強

形質17: 葉: 横断面



形質20: 葉: 縁の繊毛

葉のへりに沿って指で穏やかに擦ることで調査する。

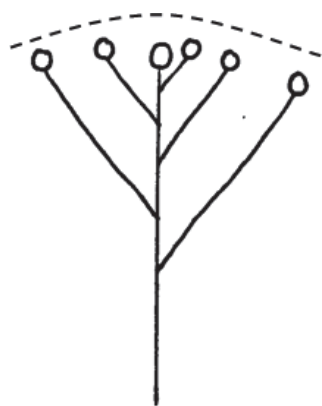


1 無

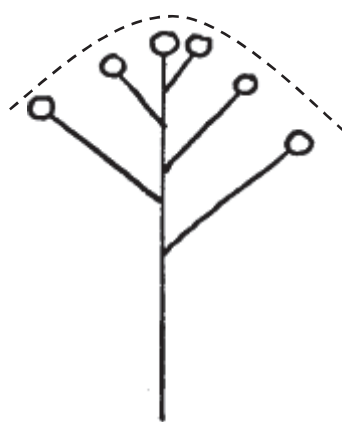


9 有

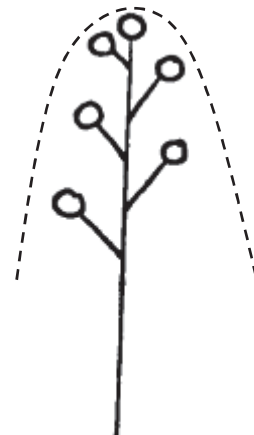
形質21: 花序: 形



1 平又はわずかに凸



2 凸



3 かなり凸

形質22: つぼみ: 形

色が見える直前に調査する。

	← 最も広い部分 →		
	中央部より下	中央部	中央部より上
広い (小さい) < 幅 (長さ/幅の比率) > 狭い (大きい)		 4 長橢円形	
	 1 卵形	 3 橢円形	 5 倒卵形
		 2 円形	

形質23: つぼみ: 花柱の露出

色が見える直前に調査する。



1 無



9 有

形質24: 包葉: 包葉の外裂片のがくに対する密着度



1 密着



2 中



3 離れる

形質25: 包葉: 外裂片の先端

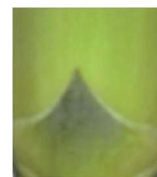
形質27: 包葉: 内裂片の先端



1 鋭



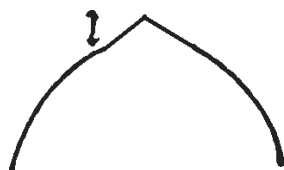
2 やや鋭尖



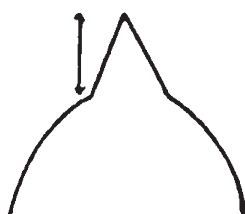
3 鋭尖

形質26: 包葉: 外裂片の先端の長さ

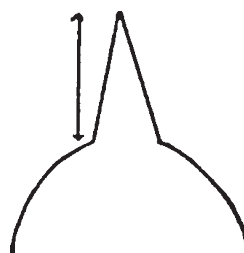
形質28: 包葉: 内裂片の頂点



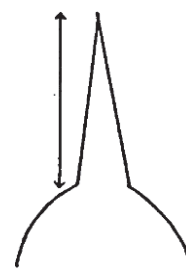
1 無又は極短



2 短



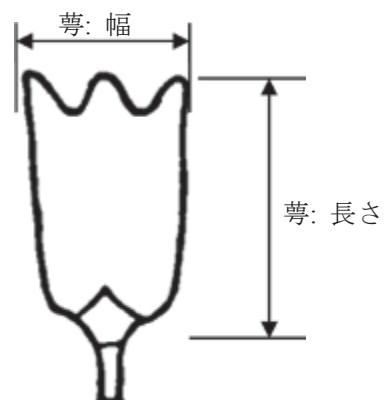
3 中



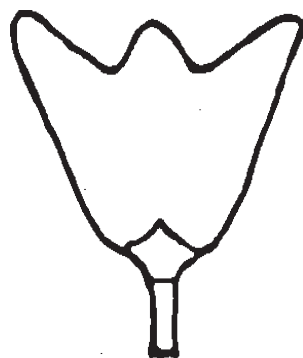
3 長

形質29: 萼: 長さ

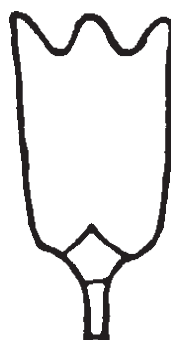
形質30: 萼: 幅



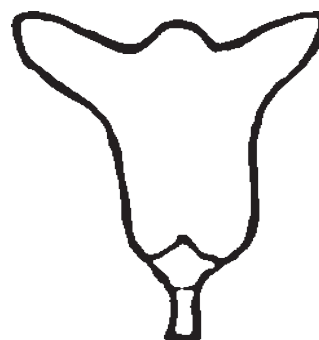
形質31: 萼: 形



1 漏斗形



2 円筒形

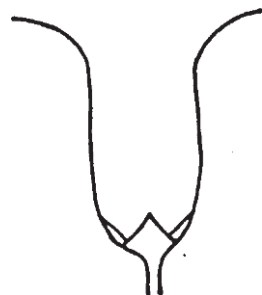


3 鐘形

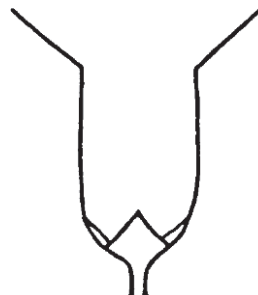
形質32: 萼: 裂片の縦軸



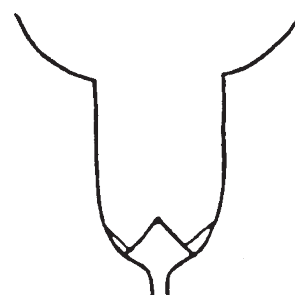
1 直



2 外反



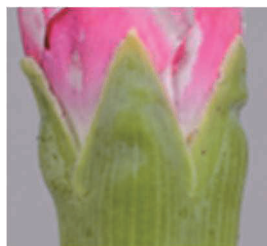
3 平



4 内反

2015年1月10日

形質35: 萼: 裂片の先端部の形



1 鋭



2 やや鋭尖



3 鋭尖

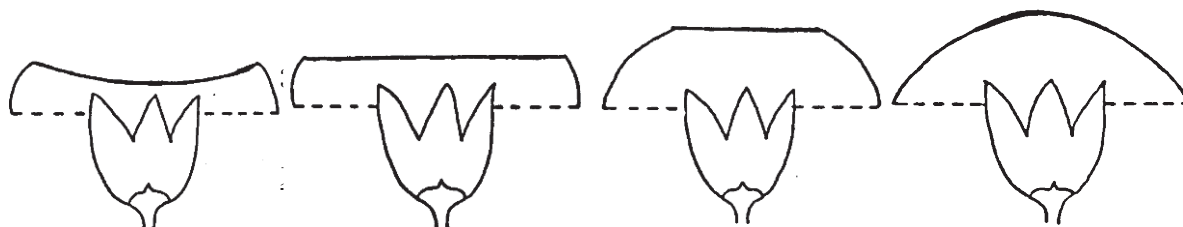
形質37: 花: 型

八重は花卉数が5より多いものとする。

形質40: 花冠: 高さ



形質41: 花冠: 上部の側面の形



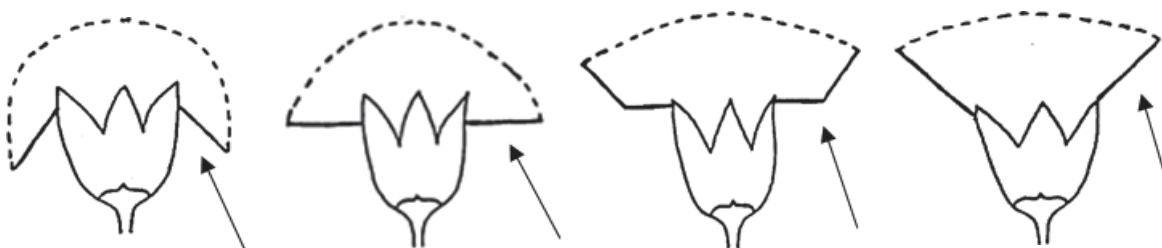
1 凹

2 平

3 やや凸

4 凸

形質42: 花冠: 下部の側面の形



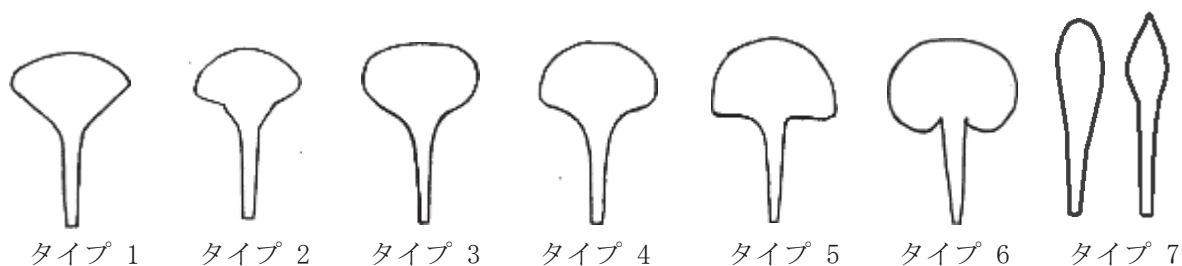
1 凹

2 平

3 やや凸型

4 凸

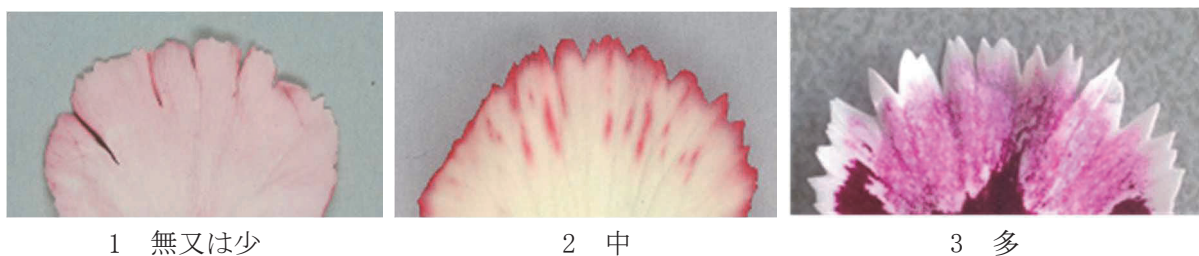
形質43: 花弁: 主な形



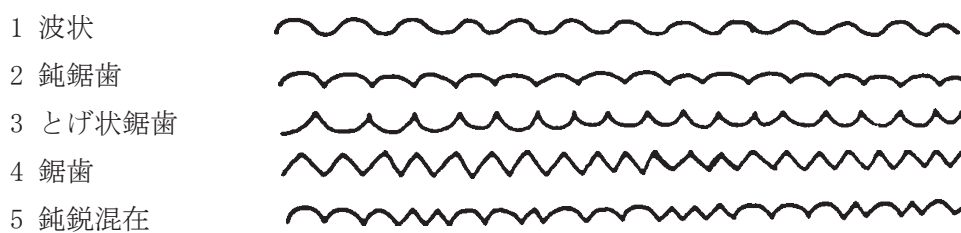
形質44: 花弁: 波打ち



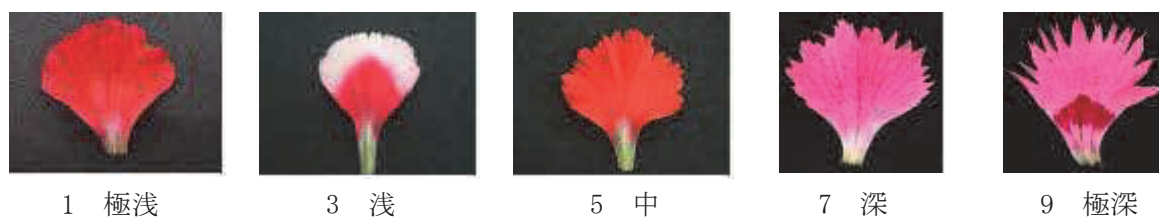
形質45: 花弁: 縁の切れ込みの数



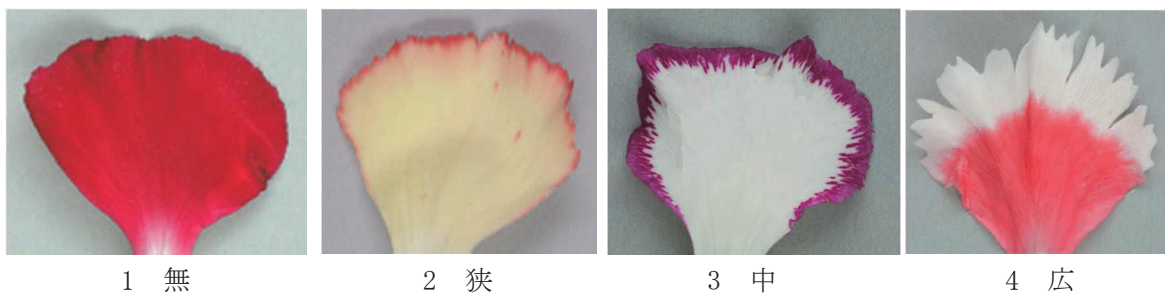
形質45: 花弁: 縁の切れ込みの形



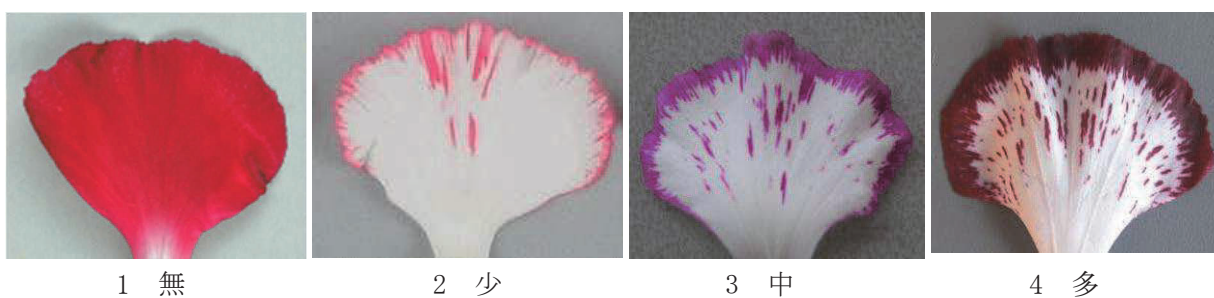
形質47: 花弁: 縁の切れ込みの深さ



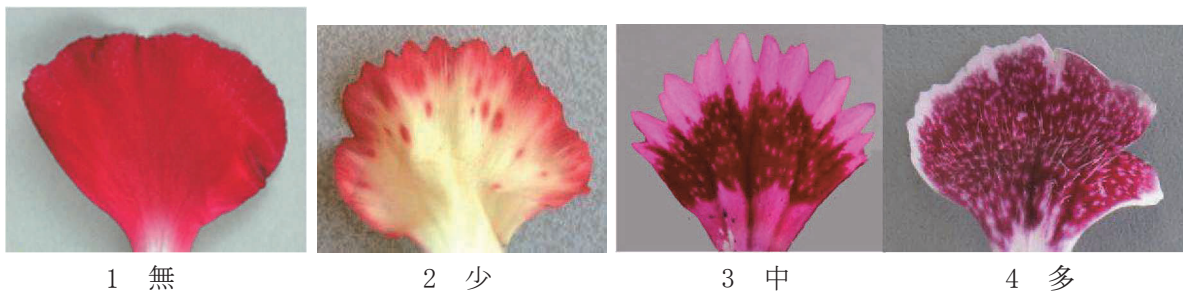
形質52: 花卉: 覆輪部の幅



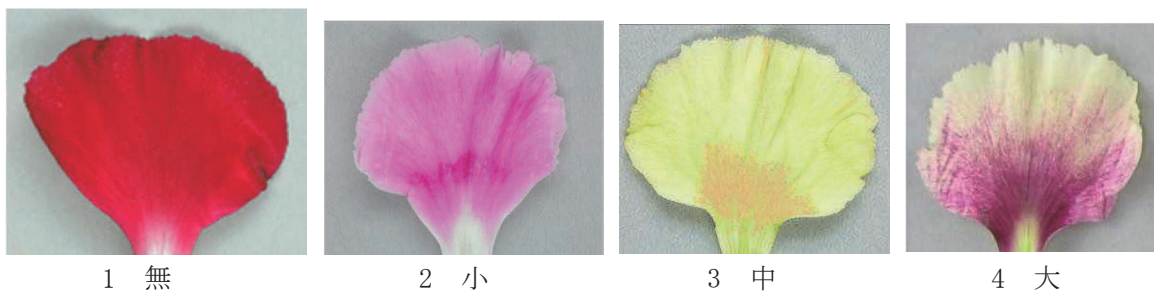
形質53: 花卉: 条の数



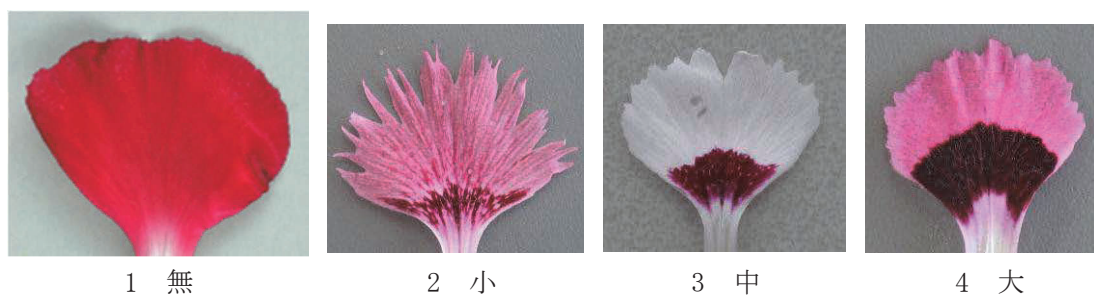
形質54: 花卉: 斑点の数



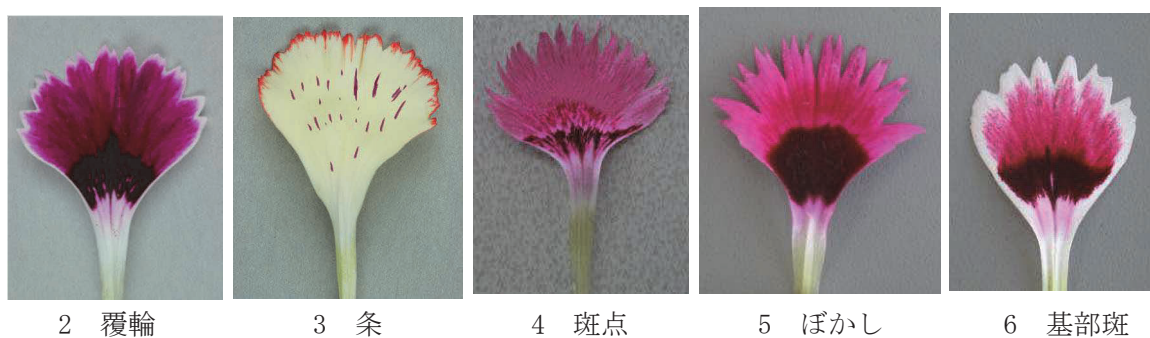
形質55: 花卉: ぼかしの大きさ



形質56: 花卉: 基部斑の大きさ



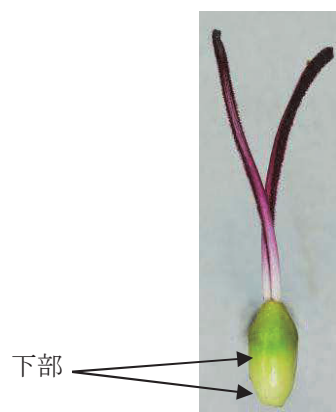
形質57: 花卉: 三次色の色模様



形質59: 子房: 形

← 最も広い部分 →			
	中央部より下	中央部	中央部より上
広い (小さい) < 比: 長さ/幅 > 狭い (大きい)		4 長楕円形	
	1 卵形	3 楕円形	5 倒卵形
		2 菱形	

形質60:子房: 下部の色



形質64: 花柱: 肩の有無



1 無



9 有

形質64: 柱頭: 色



柱頭



8.3 栽培タイプ

第3.4.2章で説明したように、これらタイプの品種の満足な生長を確保するためには、切花用、庭園用及び鉢物用のために別々の栽培試験を実施することが必要である。以下の情報は、異なったタイプの品種の栽培条件に関するもので、品種に適した栽培試験タイプを決定するのに有用な情報である。

切花用 (C)

一般的に、切花用に育種される品種には以下の特徴がある：

- ・ 低温に対してあまり耐性はない：温帯で良好に生育させるためには、加温温室が必要である。
- ・ 品種を適切に生育させるためには、十分な支柱（水平ネットなど）が必要である。

スプレー (Cs) とスタンダード (Co)

- ・ 育種は限定された遺伝子プールの中で行われる。一般的に、これらの品種タイプは *D. caryophyllus* に属している。
- ・ スタンダード（1 茎 1 花）のカーネーションとして栽培するように育種された品種では、花着き側枝又は、側枝（ある場合）は頂花のみを残すため早い段階で取り除く。
- ・ ほとんどの品種は八重である

傘形 (ビジョナデシコ : *D. barbatus*) に属する花 (Cu)

- ・ すべての品種は *D. barbatus* に属する
- ・ 群生花房を作る
- ・ ほとんどの品種は一重の花である

庭園用 (G)

育種は比較的大きな遺伝子プールで行われ、ほとんどの場合、他のタイプとは異なり非常に幅広い。これらの品種は主に *D. plumarius*, *D. x allwoodii*、及び関連する種から育成される。一般的に、この品種タイプは以下の特徴がある：

- ・ 一般的に低温耐性がある
- ・ 草丈が低い（限られた）植物である
- ・ すべての花のタイプ（一重、八重とも）を、庭園用で見ることができる

鉢物用 (P)

育種は主に庭園用と異なる遺伝子プールで行なわれる。一般的に、そのような種類の異品種は *D. caryophyllus* に属しており、以下の特徴がある：

- ・ 低温に対してあまり耐性はない：温帯で良好に育成させるためには、加温された温室が必要である。
- ・ 温室又は雨よけされた条件でのみ生産される
- ・ 草丈が低い（限られた）植物である
- ・ ほとんどが八重の花である

9. 文献

Galbally, J., Galbally, E., 1997: Carnations and Pinks. Timber Press Inc., Portland, Oregon, ISBN 0-88192-382-6

10. 技術質問票

別添参照。